

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating
製品コード : 00367B
製品グループ : 取引製品

会社情報

製造業者

株式会社モデスタ

761-8075

日本香川高松市東ハゼ町 20-3

www.modesta.co

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分 4
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分に該当しない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (麻酔作用)

安全データシート

Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境に対する有害性	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (精巣, 肝臓)
	誤えん有害性	区分 1
	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 1
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 1
	オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

危険有害性 (GHS JP)

: 危険
: 可燃性液体 (H227)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304)
皮膚刺激 (H315)
呼吸器への刺激のおそれ (H335)
眠気又はめまいのおそれ (H336)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (精巣, 肝臓) (H373)
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性 (H410)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
ミスト、蒸気を吸入しないこと。(P260)
取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)
環境への放出を避けること。(P273)
保護眼鏡、適切な保護手袋を着用すること。(P280)

応急措置

: 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。(P302+P352)
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。(P321)
無理に吐かせないこと。(P331)
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
火災の場合: 消火するために耐アルコール泡を使用すること。(P370+P378)
漏出物を回収すること。(P391)

保管

: 換気の良い場所で保管すること。(P403)
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
施錠して保管すること。(P405)

廃棄

: 内容物／容器を地方、地域、国内の法令や国際的法令に順守した危険廃棄物又は特別廃棄物の収集場所廃棄すること。(P501)

処理時の追加危険有害性

: 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

安全データシート

Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ストッダード溶剤;低沸点ナフサ-; 不特定; [悪臭や不快な臭いがな く、約 148,8° C から 204.4° C (300° F から 400° F) の範囲で 沸騰する無色の精製石油留分。]	98.7	CxHy	-	-	8052-41-3

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : 直ちに医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはいけない。
直ちに医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 : 眠気又はめまいのおそれ。
- 症状/損傷 吸入した場合 : 呼吸器への刺激のおそれ。
- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 刺激性。
- 症状/損傷 眼に入った場合 : 通常の条件下では特に無し。
- 症状/損傷 飲み込んだ場合 : 肺水腫のリスク。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 火災危険性 : 可燃性液体。
- 爆発の危険 : 直接に爆発する危険は全くない。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。

安全データシート

Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

非緊急対応者

保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置 : 漏出エリアを換気する。
裸火、火花禁止、禁煙。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
皮膚、眼との接触を避ける。

緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置 : 不要な職員を退避させる。
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。
流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。
可能であればリスクなく漏出をせき止める。
浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし
安全取扱注意事項 : 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
個人用保護具を着用する。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
皮膚、眼との接触を避ける。

接触回避 : データなし

衛生対策 : 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

安全データシート

Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

保管

安全な保管条件	: 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 換気の良い場所で保管すること。 涼しいところに置くこと。 施錠して保管すること。 容器を密閉しておくこと。
安全な容器包装材料	: データなし
技術的対策	: 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
混触禁止製品	: 強塩基。強酸。酸化剤。
容器包装材料	: 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。
保管温度	: 22 °C

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
使い捨て式空気浄化呼吸器(APR)		短期ばく露	

手の保護具 : 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR) クロロプレンゴム (CR)	6 (> 480 分)	0,4-0,7		EN 374-2 EN ISO 374 EN ISO 374-1

眼の保護具 : 安全メガネ

タイプ	適用分野	特徴	規格
安全メガネ		サイドシールド付き	EN 166

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

タイプ	規格
	EN ISO 6529 EN ISO 20345

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
外観	: 液体
色	: 無色
臭い	: 特異臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: 78 °C

安全データシート

Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

引火点	: 68 °C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 可燃性液体
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度 (20°C)	: 0.806
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 不混和性。有機溶媒に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: 約 1.98 mm ² /s
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定; [悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C（300° F から 400° F）の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)

急性毒性 (経口)	EHC 187 (1996)のラットを用いた試験において 5000mg/kg で死亡が認められなかったとの記述から、区分外とした。
急性毒性 (経皮)	EHC 187 (1996)にウサギを用いた試験において 2000mg/kg で 4 例中 1 例が死亡したとの記述があるが、他のデータがなく、区分が特定できないことから、データ不足のため分類できないとした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS 定義による液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	EHC 187 (1996)、ACGIH (7th, 2001)、ATSDR (1995)のラットを用いた試験において 8.2mg/L の 8 時間暴露（4 時間換算値 11mg/L）で 15 例中 1 例が死亡したとの記述、EHC 187 (1996)のラットを用いた試験において 5.5mg/L の 4 時間暴露で死亡が認められなかったとの記述から、区分 3 または区分 4 の可能性があるものの、特定できないことから、データ不足のため分類できないとした。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データなし

安全データシート

Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定; [悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)

LD50 経口 ラット	5000 mg/kg 出典 : ChemIDplus
LD50 経皮 ウサギ	> 3000 mg/kg BW 動物: ウサギ、ガイドライン: OECD ガイドライン 402 (急性経皮毒性)
LC50 吸入 - ラット	> 5.5 mg/l air 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 403 (急性吸入毒性)

皮膚腐食性／刺激性 : 皮膚刺激

ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定; [悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)

皮膚腐食性／刺激性	EHC 187 (1996)のウサギの皮膚に 4 時間適用した試験において中等度の刺激性および軽度の浮腫が認められたとの記述から、区分 2 とした。
-----------	--

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分に該当しない

ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定; [悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)

眼に対する重篤な損傷性／刺激性	EHC 187 (1996)のウサギの眼に適用した試験において 24 時間後には眼の反応が消失したとの記述から、刺激性の判定基準に適用しないと判断し、区分外とした。
-----------------	--

呼吸器感作性 : 分類できない

ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定; [悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)

呼吸器感作性	データなし
--------	-------

皮膚感作性 : 区分に該当しない

ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定; [悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)

皮膚感作性	EHC187(1996)のモルモットを用いた Buehler test において感作性は認められなかったとの記述から、区分外とした。
-------	--

生殖細胞変異原性 : 区分に該当しない

ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定; [悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)

生殖細胞変異原性	生殖細胞を用いる in vivo 経世代変異原性試験であるラットおよびマウスを用いた優性致死試験で陰性の結果 (EHC 187, 1996、ATSDR, 1995)、体細胞を用いる in vivo 変異原性試験であるマウス赤血球を用いた小核試験およびラット骨髓細胞を用いた染色体異常試験で陰性の結果 (EHC 187, 1996、ATSDR, 1995) があることから、区分外とした。
----------	---

発がん性 : 分類できない

安全データシート

Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定; [悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)

発がん性

EU ではカテゴリー 2 に分類されているが、判断の根拠が不明であり、ヒトでの疫学調査データはいずれも評価の対象としては不十分であるとの記述から、データ不足のため分類できない、とした。なお、NTP の Stoddard solvent IIC をラットおよびマウスに 2 年間吸入暴露した発がん性試験では、雄ラットに some evidence of carcinogenic activity、雌マウスに equivocal evidence of carcinogenic activity が認められている (HSDB, 2005)、との記述がある。

生殖毒性 : 区分に該当しない

ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定; [悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)

生殖毒性

EHC 187 (1996) のラットを用いた妊娠中吸入暴露試験において母動物に一般毒性が認められる用量でも明確な生殖毒性は認められなかったとの記述から、区分外とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 眠気又はめまいのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ

ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定; [悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

ACGIH (7th, 2001) および EHC 187 (1996) のラットまたはイヌを用いた吸入暴露試験において活動性の低下、協調運動性低下、運動失調、振戦、痙攣などの一過性の神経系への影響を示唆する症状が認められたとの記述、ACGIH (7th, 2001)、EHC 187 (1996) および ATSDR (1995) のヒト暴露例で頭痛、吐き気、めまいなどの神経系への影響を示唆する症状および鼻の刺激性が認められたとの記述から、区分 3 (麻酔作用、気道刺激性) とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (精巣、肝臓)

ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定; [悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

EHC 187 (1996) のモルモットを用いた吸入暴露試験において肝臓への影響が区分 2 のガイダンス値範囲の濃度で認められたとの記述、ならびに NTP TR519 のラットを用いた吸入暴露試験において精子運動性の低下が認められたとの記述 (HSDB, 2005) から、区分 2 (肝臓、精巣) とした。

NOAEL (経口、ラット、90 日)

1056 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 407 (げっ歯類における 28 日間反復投与経口毒性試験)

誤えん有害性 : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating

動粘性率

約 1.98 mm²/s

ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定; [悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)

誤えん有害性

炭化水素であって、かつ white spirit の粘性率から算出される 25°C の動粘性率は 0.87-1.94 mm²/s であり 40°C では 20.5 mm²/s 以下であると推測されること、さらに PATTY (4th, 1994)、EHC 187 (1996)、ATSDR (1995) に誤嚥により化学性肺炎を引き起こす可能性があるとの記述があることから、区分 1 とした。

動粘性率

0.9 – 1.6 mm²/s 温度: 'その他:' パラメータ: '動粘度 (mm²/s)' />

安全データシート

Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に非常に強い毒性
水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定;[悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)	
水生環境有害性 短期 (急性)	甲殻類 (オオミジンコ) の 48 時間 LC50=0.42-2.3 mg/L (EHC187、1996) から、区分 1 とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	急性毒性が区分 1、急速分解性がなく (BOD による分解度 : 12-13% (EHC187、1996))、生物蓄積性が不明であることから、区分 1 とした。
LC50 - 魚 [1]	2.5 mg/l 試験生物 (種) : Oncorhynchus mykiss (旧名 : Salmo gairdneri)
EC50 - 甲殻類 [1]	0.42 mg/l
NOEC (慢性)	0.1 mg/l 試験生物 (種) : オオミジンコ 期間 : 21 日
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.16 - 7.06 出典 : ICSC

残留性・分解性

Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating	
残留性・分解性	急速分解性でない
ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定;[悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)	
残留性・分解性	急速分解性でない

生体蓄積性

Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating	
生体蓄積性	データなし
ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定;[悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.16 - 7.06 出典 : ICSC

土壌中の移動性

Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating	
土壌中の移動性	データなし
ストッダード溶剤;低沸点ナフサー;不特定;[悪臭や不快な臭いがなく、約 148,8°C から 204.4°C (300° F から 400° F) の範囲で沸騰する無色の精製石油留分。] (8052-41-3)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.16 - 7.06 出典 : ICSC

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

安全データシート

Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG)	: 非該当
正式品名 (UN RTDG)	: 非該当
容器等級(UN RTDG)	: 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報	: 補足情報なし
--------	----------

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法	: 第3種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第5号） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9） 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9） ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。）（政令番号：551）（90%以上） 特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者（法第66条第2項、施行令第22条第1項）
消防法	: 第4類引火性液体、第二石油類非水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
海洋汚染防止法	: 油性混合物（施行規則第2条の2） 有害液体物質（X類物質）・油性混合物（施行令別表第1第1号イ（81）） 有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1）
外国為替及び外国貿易法	: 輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 輸出貿易管理令別表第2（輸出の承認）
道路法	: 車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）

安全データシート

Modesta BC-01B - High-gloss Water-repellent Glass Coating

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）：特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号）
労働基準法：がん原性化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号）

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある。製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。